

## Contents

---

### AIPPI Bureau

---

#### ・ President からのレポート

2008年9月のボストン総会以降に AIPPI が実施してきた活動は、ここで一度に紹介しきれないほどありますが、そうした活動の一部については、今号の他の記事でも報告されているのでご覧ください。私からは、近い将来に予定している AIPPI の主要な業務について大まかに説明させていただきます。

*(Thierry Mollet-Viéville, President of AIPPI)*

(英語版詳細：<https://www.aippi.org/enews/2009/edition08/presidents-report.html>)

#### ・ 中欧・東欧知財セミナー

**EU 拡大から 5 年—2009 年 4 月 27 日、28 日、ワルシャワ**

ドイツ、ポーランド、ウクライナの各国部会は、知的財産保護に関する課題に焦点を当てたセミナーを、1999 年から毎年春にいずれかの国で共同開催してきました。

2009 年春の第 10 回セミナーはワルシャワで開催されることになっていたため、Bureau はこの機会を利用して年次会合をワルシャワで行い、セミナーの発展に貢献するため、Bureau メンバーがプレゼンテーションを行うことにしました。

*(Dariusz Szleper, Deputy Reporter General of AIPPI)*

(英語版詳細：[https://www.aippi.org/enews/2009/edition08/Warsaw\\_Seminar.html](https://www.aippi.org/enews/2009/edition08/Warsaw_Seminar.html))

#### ・ INTA 年次総会における AIPPI ブース—2009 年 5 月 16 日～20 日、シアトル

INTA 年次総会において、AIPPI の行事を宣伝できたのは今回で 2 度目です。プエノスアイレスでの AIPPI フォーラム&執行委員会に関する情報や、2010 年 AIPPI 国際総会の開催都市であるパリの観光ガイドやペンを目当てに、多くの参加者がブースを訪れました。

*(General Secretariat of AIPPI)*

(英語版詳細：<https://www.aippi.org/enews/2009/edition08/inta-seattle.html>)

---

## AIPPI Committee

---

・議題 199 の Special Committee (秘匿特権タスクフォース) – 進捗報告

WIPO SCP 会合 – 2009 年 3 月 23 日～27 日、ジュネーブ

SCP における「依頼者・弁護士間の秘匿特権」の研究を継続

2009 年 3 月の特許法常設委員会 (SCP) 会合では、事務局が作成したレポートに関して、締約国の代表者が WIPO に意見を提出しました。このレポートには、秘匿特権に関する予備研究 (SCP13/4) が含まれていましたが、全体として、秘匿特権に関する研究の継続を支持する意見が多く、締約国はこの研究の継続を決定しました。

(*Michael Dowling, Chairman of Q199*)

( 英 語 版 詳 細 :

[https://www.aippi.org/enews/2009/edition08/Q911\\_Progress\\_Report.html](https://www.aippi.org/enews/2009/edition08/Q911_Progress_Report.html))

---

## 今後の行事

---

・国際知的財産セミナーおよび会議 – 2009 年 8 月 22 日～25 日、

リオデジャネイロ

AIPPI ブラジル部会は (ブラジル知的財産権協会 (ABPI) と共同で)、第 29 回国際知的財産セミナーおよび会議を、2009 年 8 月 22 日～25 日の日程で、リオデジャネイロの Windsor Barra Hotel (Av. Sernambetiba, 2630) にて開催します。

このセミナーでは、以下のような知財実務者にとって関心の高いテーマを扱います。

- ・ WTO 裁定を受けての、たすきがけ報復
- ・ 企業の社会や環境に対する責任を表す企業商標
- ・ マドリッド協定議定書：現時点での評価
- ・ 特許出願における世界規模での慢性的な滞貨の増大：問題と解決策
- ・ 映画作品における著作権
- ・ 新しいタイプの商標：現状
- ・ ポリモルフおよび第二用途の特許：ブラジルにとっての有益性
- ・ Second Life と知的財産：仮想世界における知的財産の保護
- ・ イノベーションに対する優遇税制：有効性と問題点
- ・ バイオテクノロジー保護政策の基準

- ・自動車部品業界における意匠保護：国内外の判例の解説
- ・地理的表示：成功例。地理的表示、団体商標、証明商標の間での概念の混同
- ・特許法の実体面での調和：実体特許法条約（SPLT）に関する議論の状況
- ・アンブッシュマーケティング：ワールドカップにおける商業活動に対する脅威
- ・オープンイノベーションとクラウドソーシング：新しい形態の保護を必要とする、新たな創造の形

- ・発展のための課題：進展と展望

( 英 語 版 詳 細 :

<http://www.aippi.org/enews/2009/edition08/programme-seminar-brazil.pdf>)

- ・AIPPI フォーラム&執行委員会－ 2009 年 10 月 11 日～14 日、  
ブエノスアイレス

詳細および暫定プログラムはウェブサイト [www.aippi.net](http://www.aippi.net) でご覧になれます。

宿泊料金が改定されました。お得な料金でご利用になるには、お早めにご予約ください。

改定された料金の詳細は[こちら](#)でご覧になれます。

知的財産に関する会議の開催情報については、[AIPPI Master Calendar](#) をご覧ください。

---

## 各国部会

---

- ・国際私法と知的財産に関する会議－2009 年 6 月 4 日、リヨン

今回の国際私法と知的財産に関する会議は、ジャン・ムーラン・リヨン第 3 大学が AIPPI フランス部会と共同で開催しました。

140 名ほどの専門家が参加したこの会議では、一流の講演者、学者、実務者によって大胆な計画が提案されました。

この会議は、特に新たな EC 規則を踏まえて、知的財産との関連で提起された国際私法の主要な課題について概要を示すことを目的として行われました。

午前は準拠法をテーマとして進められ、午後は司法上の具体的な問題について話し合われました。

(*Jean-Guillaume Monin*－CMS Bureau Francis Lefebvre Lyon、フランス)

( 英 語 版 詳 細 :

[http://www.aippi.org/enews/2009/edition08/Conference\\_on\\_IP\\_Lyon.html](http://www.aippi.org/enews/2009/edition08/Conference_on_IP_Lyon.html))

---

## 政府機関 & NGO

---

- ・ WIPO－第 13 回特許法常設委員会 (SCP) －2009 年 3 月 23 日～27 日、  
ジュネーブ

第 13 回 SCP は、2008 年 9 月の総会で WIPO 事務局長に就任した Francis Gurry 氏、当会議の書記を務める Philippe Baechtold 氏 (WIPO)、第 12 回 SCP において当会議の議長に選出された Maximiliano Santa Cruz 氏の出席のもと開会されました。

第 12 回 SCP では、参加した各国代表者により、18 件の課題に関する検討が承認されていました。

*(Alain Gallochat, Chairman of Q170/Chairman of Nominating Committee of AIPPI)*

( 英 語 版 詳 細 :  
[http://www.aippi.org/enews/2009/edition08/WIPO\\_of\\_the\\_Standing\\_Committee.html](http://www.aippi.org/enews/2009/edition08/WIPO_of_the_Standing_Committee.html)  
)

---

## 記事・解説

---

- ・ EU－日本－ソフトウェアシミュレータの特許保護：欧州特許庁における実務と未解決の問題

EPO の審決例では、最新の製品や技術の開発においてソフトウェアシミュレータの重要性が高まっていることと、コンピュータ援用シミュレーションを対象とした特許クレームに複数の技術的効果が関連することが認められています。本稿では、こうした審決がコンピュータ実施発明という特定の分野における特許保護に対してどのような形で影響を及ぼすかについて検討します。この点に関しては、拡大審判部への付託 G3/08 と、ソフトウェアシミュレータの特許性に対して及ぼし得るその影響についても簡潔に述べます。また、この付託の受理可能性と、そのことによる影響についても同様に説明します。

*(Michele Baccelli, Hoffmann Eitle－Munich London, 平塚三好－東京理科大学)*  
(英語版詳細: <http://www.aippi.org/enews/2009/edition08/software-simulators.html>)

- ・ シンガポール－商標法に関するシンガポール条約

商標法に関するシンガポール条約（以下「シンガポール条約」）は、1994年の商標法条約をもとに作成され、2006年にWIPO締約国によって採択されています。

シンガポール条約には、商標登録の行政上の規則や手順を国際的に調和させるための重要な改正が盛り込まれています。10番目の締約国としてオーストラリアが批准したことで、本条約は2009年3月16日に発効します。

(Kevin Wong, Kiran Dharsan – Ella Cheong Spruson & Ferguson, シンガポール)  
(英語版詳細：[http://www.aippi.org/enews/2009/edition08/Singapore\\_Treaty.html](http://www.aippi.org/enews/2009/edition08/Singapore_Treaty.html))

---

### フィードバック

---

会員のみなさんからのご意見・ご感想をお待ちしております。e-NewsあるいはAIPPIに関して気づいた点などありましたら、[enews@aiippi.org](mailto:enews@aiippi.org)までメールでお寄せください。

---

### 寄稿のお願い

---

e-Newsに掲載する記事を読者のみなさんから募集しています。寄稿の際には、e-Newsの編集ポリシー／ガイドライン([http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/editorial\\_policy\\_guidelines.html](http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/editorial_policy_guidelines.html))に準拠していただくようお願いします。

e-Newsは、AIPPI（国際知的財産保護協会）が隔月で出版するニュースレターです。  
AIPPI General Secretariat | Toedistrasse 16 | CH-8027 Zurich | Tel. +41 44 280 58 80 |  
Fax +41 44 280 58 85 | [enews@aiippi.org](mailto:enews@aiippi.org) | [www.aippi.org](http://www.aippi.org)

今号の作成者：AIPPI General Secretariat、Maria Bratsos  
作成協力：AIPPI Deputy Secretary General、Stephan Freischem

編集／出版チーム：

Chair：Esmé du Plessis

Members：

Alan J. Kasper

Rainer Beetz

Sun-Ryung Kim  
Charters J. Macdonald-Brown  
Raffaella Arista  
Martin Michaus  
Teresa O'Connor  
Hiroyuki Suda  
Carolyn Harris  
Juan Carlos Cuesta Quintero  
Gastón Richelet  
Calab Gabriel

-----  
免責事項：

AIPPI は伝達する情報の正確性を期すべくあらゆる努力をしていますが、これらの情報は、特定の資格を有する専門家の助言に代わるものとみなされるものではありません。AIPPI は、インタビューで表明された意見やウェブの外部リンクを介して提供される情報に対しては一切責任を負いません。